

解答例

P.1

喜楽研の 算数補助プリント ~3年~

名前: \_\_\_\_\_

2020年度から、新学習指導要領による学習が本格実施されます。今回の算数指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」が大きな観点となっています。「思考力」「表現力」「判断力」も問題を解く中で培う必要があります。そこで、本書でも、基本的な知識理解を主として、子どもたちが一歩深く考え、また楽しく取り組めるような問題を中心に掲載してみました。子どもたちが様々な方法で「答え」を見つけ出し、多様な考えが育まれることを望みます。

大きな数

● 1億円は100円玉で何まいですか。下の表を使って考え、番号で答えましょう。

① 10万まい ② 100万まい ③ 1000万まい

億	千	百	十	万	千	百	十	円

答え **②**

● ア、イ、ウは3つの円のそれぞれの中心です。いちばん大きな円の直径は12cmです。イからウまでの長さは何cmですか。

答え **6** cm

問題の答えを書いたあと、なぜそう考えたのか、お友だちや、おうちの人にぜひ聞いてみましょう。

【解説】

大きな数 100000000 (1億) は100を1000000 (100万) 集めた数です。  
 円と球 イを中心とする円とウを中心とする円の直径をたすと12cmです。イからウの長さはそれぞれの半径をたした長さで6cmになります。

P.2

名前: \_\_\_\_\_

かけ算

① 九九表について答えましょう。

① 同じ答えの九九がいくつありますか。「6」「8」「12」が答えの九九は、4つずつあります。たとえば、答えが「6」の九九は、 $1 \times 6$ 、 $6 \times 1$ 、 $2 \times 3$ 、 $3 \times 2$ です。同じ答えが4つある九九をほかにも2つ見つけましょう。それは、答えが何の数字ですか。

答え **18** と **24**

② 九九の答えに、「11」と「13」はありません。20までの数字であと2つ九九の答えにない数字があります。それは何の数字ですか。

答え **17** と **19**

② 下の表の※には、かける数とかけられる数がかくされています。

	①※	②※	1	5	③※
④※	12	ア	3	15	21
1	4	8	1	5	7
⑤※	24	48	6	30	42
⑥※	36	72	9	45	イ

(1) ①、②、③、④、⑤、⑥に入る数を書きましょう。  
 ① **(4)** ② **(8)** ③ **(7)**  
 ④ **(3)** ⑤ **(6)** ⑥ **(9)**

(2) アとイには、どんな数が入るでしょうか。  
 ア **24** イ **63**

問題の答えを書いたあと、なぜそう考えたのか、お友だちや、おうちの人にぜひ聞いてみましょう。

【解説】

かけ算① 九九表をみて答えをさがしてもよいでしょう。九九表のきまりが確認できます。  
 ② アを横に見ると3の段、縦に見ると8の段だから、 $3 \times 8 = 24$ 。イを横に見ると9の段、縦に見ると7の段だから、 $9 \times 7 = 63$ 。

P.3

名前: \_\_\_\_\_

わり算

① □にあてはまる数を書きましょう。

①  $24 \div \mathbf{6} = 4$  ②  $1 \div \mathbf{1} = 1$   
 ③  $\mathbf{40} \div 5 = 8$  ④  $\mathbf{0} \div 7 = 0$

②  $30 \div 5$ の式になるように、□にあてはまる数を書きましょう。

① みかんが **30** こあります。 **5** 人に同じ数ずつ分けると、 **1** 人分は何こになりますか。

② みかんが **30** こあります。 **1** 人に **5** こずつ分けると、何人に分けられますか。

あまりのあるわり算

① 九九をつかって、わり算の答えのたしかめをする。次のような式になりました。どんな式のわり算でしょうか。□にあてはまる数を書きましょう。

$\bigcirc \times \square + 2 = 51$

$\mathbf{51} \div \mathbf{7} = \mathbf{7}$  あまり **2**

② わり算とその答えのたしかめの式です。○と□には、0~9のどんな数があてはまるでしょうか。( ) に書きましょう。

$35 \div \bigcirc = \square$  あまり8

たしかめ  $\bigcirc \times \square + 8 = 35$

$\bigcirc = \mathbf{(9)}$   $\square = \mathbf{(3)}$

問題の答えを書いたあと、なぜそう考えたのか、お友だちや、おうちの人にぜひ聞いてみましょう。

【解説】

わり算① わられる数、わる数、答えの関係を見つける問題です。②  $1 \div 1 = 1$  ④  $0 \div 7 = 0$  は特殊なわり算です。  
 ② 「1人分の数を求めるわり算」と、「何人に分けられるかを求めるわり算」があることがよく分かる問題です。  
 あまりのあるわり算①  $\bigcirc \times \square + 2 = 51$ だから $\bigcirc \times \square = 49$  ( $51 - 2$ )になります。 $7 \times 7 = 49$ なので、わり算の式は $51 \div 7$ ということが分かります。  
 ②  $\bigcirc \times \square + 8 = 35$ なので、 $\bigcirc \times \square = 27$  ( $35 - 8$ )です。積が27になるのは、 $3 \times 9$ か $9 \times 3$ なので、答えは9と3になります。また、あまりが8なので、わる数はあまりの8より大きい9しかないとも考えられます。

P.4-1

名前: \_\_\_\_\_

三角形

① ア、イ、ウのうち、3つの長さの逆で三角形ができないのはどれですか。

ア 6cm, 6cm, 6cm イ 6cm, 6cm, 8cm  
 ウ 6cm, 6cm, 12cm

答え **ウ**

② 右の大きな正三角形の中に、正三角形は何こありますか。番号で答えましょう。いちばん大きい正三角形は数に入れません。

① 11こ ② 12こ ③ 13こ  
 ④ 14こ ⑤ 15こ

② □にあてはまる数字を書きましょう。

①  $\begin{array}{r} 73 \\ \times 14 \\ \hline 292 \\ 73 \\ \hline 1022 \end{array}$  ②  $\begin{array}{r} 12 \\ \times 95 \\ \hline 60 \\ 108 \\ \hline 1140 \end{array}$

② □にあてはまる数字を書きましょう。

①  $\begin{array}{r} 64 \\ \times 38 \\ \hline 512 \\ 192 \\ \hline 2432 \end{array}$  ②  $\begin{array}{r} 37 \\ \times 54 \\ \hline 148 \\ 185 \\ \hline 1998 \end{array}$

問題の答えを書いたあと、なぜそう考えたのか、お友だちや、おうちの人にぜひ聞いてみましょう。

【解説】

三角形① ウの2つの辺、6cmと6cmをたすと12cmになるので、三角形はかけません。  
 ② 小さな正三角形が9こ、小さな正三角形が4こでできる正三角形が3こあります。全部で12こです。

P.4-2

【解説】

かけ算のひっ算①

① 
$$\begin{array}{r} \square 3 \\ \times \square 4 \\ \hline 2\square\square \\ \square\square\square \\ \hline \end{array}$$
 3の段で一の位が②と③になるのは、4と1だけです。かける数は14だと分かります。

② 
$$\begin{array}{r} \square 2 \\ \times \square 5 \\ \hline \square\square 0 \\ \square\square\square \\ \hline \end{array}$$
 積が2けたなので、①は1であることが分かります。

③ 
$$\begin{array}{r} \square 3 \\ \times 14 \\ \hline 2\square\square \\ \square\square\square \\ \hline \end{array}$$
 ③に入る数は5, 6, 7ですが、答えが4けたになるのは7だけです。

④ 
$$\begin{array}{r} \square 2 \\ \times 75 \\ \hline \square\square 0 \\ \square\square\square \\ \hline \end{array}$$
 12 × ④で3けたの数になるのは9しかありません。

②

① 
$$\begin{array}{r} 64 \\ \times 37 \\ \hline 512 \\ 192 \\ \hline \end{array}$$
 4の段で一の位が2になるのは3か8ですが、積が512になるのはアが8のときだけです。

② 
$$\begin{array}{r} \square 7 \\ \times 54 \\ \hline \square 85 \\ \square\square 8 \\ \hline \end{array}$$
 7の段で一の位が8になるのは7 × 4 = 28だけです。イは4です。

③ 
$$\begin{array}{r} \square 7 \\ \times 54 \\ \hline \square 85 \\ \square\square 8 \\ \hline \end{array}$$
 ③は3であることが分かります。

④ 
$$\begin{array}{r} 37 \\ \times 54 \\ \hline 185 \\ 198 \\ \hline \end{array}$$

P.5

名前: \_\_\_\_\_

**小数**

● 0から9までのカードがそれぞれ1枚ずつあります。カードを3枚使って、次の小数を作りましょう。

① いちばん小さい小数  $10.2$

② いちばん大きい小数  $98.7$

③ 50にいちばん近い小数  $50.1$

**分数**

●  $\frac{3}{4}$ mを表しているのは、アとイのどちらでしょう。

ア  $\frac{1}{2}$ m

イ  $\frac{1}{4}$ m

答え **イ**

**重さ**

● 同じ大きさの石と木の重さをくらべます。いちばん重いものがどれかを2回はかかってください。2回目は何と何をはかればよいですか。

1回目

2回目

答え **石** と **鉄**

問題の答えを書いたあと、なぜそう考えたのか、お友だちや、おうちのの人にせつめいしましょう。

【解説】

小数 ①十の位に0を入れることはできないので、十の位に1を入れて、小さい数から並べます。  
 ②上の位から順に大きい数を並べます。  
 ③50に近いのは、50.1と49.8ですが、50.1の方が50に近いです。

分数 全体の(もとの大きさの) $\frac{3}{4}$ と $\frac{3}{4}$ mの違いが分かることが大切です。

重さ 木は石より軽いので、いちばん重いのは木ではないことが分かっています。

P.6

名前: \_\_\_\_\_

**文章題**

① 100円玉を1まい持って、買い物に行きました。3つ買ったつらうと100円でした。何を買ったのでしょうか。下の□からえらびましょう。

あめ…25円	チョコレート…38円
ラムネ…54円	すもも…56円
ガム…27円	あられ…48円

答え **あめ**  
**ガム**  
**あられ**

② 図書館に本をかりにいきます。おかりさんは図書館に向かって300m歩いたところで、ゆみさんをさそうことにしました。ゆみさんの家まで100mもどり、ゆみさんと一緒に図書館へ行きました。ゆみさんの家から図書館までは500mです。おかりさんは、家を出て、家に帰って来るまで何m歩いたことになりましたか。

答え **1600** m

問題の答えを書いたあと、なぜそう考えたのか、お友だちや、おうちのの人にせつめいしましょう。

【解説】

文章題① 3つの合計の一の位が0になる物をさがします。(あめ・ガム・チョコレート)か(あめ・ガム・あられ)しかありません。100円になる方が答えです。

② 行きは300 + 100 + 500 = 900 900m  
 帰りは500 - 100 + 300 = 700 700m  
 900 + 700 = 1600 1600m